

令和5年度下期 放送番組審議会 議事録

令和6年4月3日  
株式会社ジェイコム千葉

1. 開催日時 2024年4月3日(水) 10時00分～11時30分
2. 開催場所 オリエンタルホテル東京ベイ 1階ローズ
3. 委員出欠

委員総数7名、全員出席

【出席委員氏名】

生稲芳博	株式会社幕張メッセ	代表取締役専務
川並弘純	学校法人東京聖徳学園	理事長・学園長
今野博之	市川市農業協同組合	代表理事組合長
鈴木希依子	木更津市国際交流協会	会長
瀬戸熊修	学校法人千葉工業大学	理事長
薬師寺広	ゴルフキャスター	
柳内光子	山一興産株式会社	代表取締役社長

(50音順、敬称略)

【事業者側出席者氏名】

●株式会社ジェイコム千葉  
代表取締役社長 千田貞文  
常務取締役 渡辺岳  
取締役 佐藤忠信  
社長付 吉川行成

●JCOM株式会社  
制作第一部リージョナルマネージャー 西井俊介

4. 概況説明

- (1) 株式会社ジェイコム千葉活動概況について
- (2) 自主制作番組の放送実績について

5. 下期のJ:COMチャンネルについての審議

J:COMチャンネルの番組制作全般について、また東葛飾地方中学校駅伝競走大会の取り組みについての意見交換を行った。

【凡例】○：委員からの発言、●：事業者からの発言

## J:COMチャンネルへのご意見

○：取材のフットワークの良さはさすが。地域の情報はなかなか拾いきれないものだが、多くの子どもたちを取り上げ、彼らのモチベーションUPにもつながっており好ましい。

防災の取り組みも地域性があるが、知る機会がないため、取り上げてもらうことで選択肢が広がり意義があると思う。

●：下期より取材数を増やした。市民のための放送事業者として、意識しており引き続き多くの方を取材したい。安心安全の取り組みは、近隣エリアで取り組んでいることを発信することが住民の気づきになるはず。引き続き強化していきたい。

●：近ごろ災害が頻発しておりいつ起きてもおかしくないことと捉えている。災害発生を想定し、地域住民や警察、行政などとも連携して備えていきたい。

○：千葉県の中のJCOMの位置づけ、将来あるべき姿、何を目指しているのか見えない。JCOMとして社会還元（震災時の寄附やボランティアなど）などポリシーを持って活動してほしい。「これがJCOMだ」と言えるものを持ってほしい。少なくとも番審委員7名はJCOMと協力するパートナーだと考えているので、組むメリットを考えて欲しい。

千葉県の企業として地域経済を盛り上げ、社会還元が活性している県内企業、学校（千葉工大など）をもっと取り上げて応援してほしい。

●：ありがたいご指摘。言葉ではSDGsや地域貢献と伝えているが、まだまだ課題があると感じており経営者としても悩ましい。本質に迫るご指摘なのでご意見をありがたく受け止め努力していく。

○：ジェイコム千葉でしかできないものがあると良い。災害起きる前に避難場所などの案内できないか？JAいちかわでは4市と災害協定を結んでおり発災時にお米などの提供ができるように備えている。安心安全チームに期待。

●：10月から発足した安心安全チームは、コンテンツをつくるだけではなく地域のネットワーク構築を目指していく。

○：人のためになるような経営、番組を意識してほしい。地域のために何ができるかという点では、教育や経済困窮者への支援や情報発信は意義があると考え。その視点に長けた女性経済人や女性目線の番組を企画して取り上げるのも良いのではないか。

○：国際交流協会への取材がありがたく、参加者からも喜びの声があがっていた。ジモトピ等での取材では、農家の活動を伝える密着などの取材を希望。ま

た、食レポももっと見たいという声が届いている。

○：女性の記者（キャスター）を増やしてほしい。

○：女性活躍はとても大事だと認識している。聖徳大学も取り上げていただいた際、学内で番組配信するなど意識づけしており、学生も励みになっている。千葉県は地域ごとに特性が明確に分かれている。番組では人口の多い街が取り上げられがちに見えるため、地域振興の点では人口が少ない地域にも目を向け、人が動くきっかけになるような番組にして欲しい。

●：ご指摘の通り、人口が多い＝イベントが多いため取材が集中していたが、地域課題などにも目を向け取材していきたい。

○：NHKやチバテレとの差別化をすべき。地元の方が情報を持っているので、スマホやAIを活用し、情報提供できるシステムづくりなど検討を。きめ細かい情報を発信し、JCOMのコミチャンを見て千葉県に住んで良かったと思わせたら大成功。そういったチャンネルにしていきたい。

●：差別化については出来ていないことも多い。取材依頼は多く寄せられ出向いているが、地域に住む方自身が情報発信できること、一緒に取り組むことが重要だと考える。今後そういった仕組みづくりをしていきたい。

○：大学でも新たな取り組みはたくさんあるが発信していないというケースが多い。たくさんの情報の中で、地域の方がどういった情報を欲しがっているかの見極めが重要。取材情報はどのように集めているのか。

●：一般の方の取材依頼・情報提供が半分くらい、その他行政の情報やリサーチした中から取材している。特集・密着番組がまだまだできていない。地域の魅力、自慢、素晴らしさをもっと深堀して、テーマ（たとえば女性視点など）をもって取り組んでいきたい。

○：現地に出向くことでしかつかめない情報、組織トップでしか知り得ない情報もある。会合を開き、情報交流してはどうか。

## 東葛飾地方中学校駅伝競走大会についての意見

○：柏ゴルフフェスタ等で同じような経験をしているからこそ、大変な取り組みであると感じる。タブレットなど取り入れ、地域のケーブルテレビがNHKでも出来ないような取り組みを実現しており驚いた。千葉県を代表する選手に育つ子どもたちを取り上げる意味は大きい。スポーツはライブでこそ感動を呼ぶ。ハイライトだけでも感動し涙がでた。こうした取り組みを続けるならば

JCOM の将来は明るいと感じる。

流経大も映像制作に長けているし、ほかにも千葉工大など、地域の学校なども巻き込んでいくべき。

●：制作人員だけでなく、営業など総力をあげて取り組んだ。

●：千葉県出身の箱根駅伝走者のうち 2 割は東葛駅伝経験者。

○：松戸在住だが生活基盤が松戸になく取り組みは知らなかった。映像を見て素晴らしい取り組みに驚いた。

●：中継車を出したいと考えている。

○：中継車による生放送は差別化にならないので、JCOM にしか出来ない手作り感も大事にして欲しい。沿道にいる大勢の応援者がスマホで手軽に発信できる仕組みはどうか。

沿道のお店を紹介したり協賛を募るような取り組みが、街や文化の紹介にもなり、県内経済も動くと考える。

○：(JA いちかわ梨グミ制作の取り組み事例紹介) 学生と一緒に取り組んだり、新しいやり方をするのが JCOM らしさではないか。異業種間でサプライチェーンを組むような取り組みに期待したい。

## 6. 閉会 (事業者事務局)

本日頂戴した番組に対する貴重なご意見・ご要望を制作現場に申し送り、今後の番組制作に活かしてまいります。